

で広場案が可決されれば、議会や地域の一部の方が反対であっても事業が進められてしまうのが議会制民主主義の原則であります。予算審査において運営の中身を理解し、今までいただいた意見もしっかりと踏まえて判断していきたいと思いますが、以前行われたみらい創造クラブの聞き取りでは、十分に声が行き届いてない状況でございまして、解体をして、更地にしておけばよいのではないかという意見がたくさんでありました。市長の地区懇談会から広場案の情報も更新されると思いますが、それらは日の目を見ないまま審議されていきます。それでよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

これまで方針の見直しといったところを含めて地区懇談会、また、住民説明会等も含めてご説明もさせていただいたというふうにも思っております。議会のほうにもまたしっかりとご説明をさせていただきまして、また新年度予算にもこちらの関連予算、計上させていただいておりますので、そちらでご説明をさせていただきまして、また議決をいただければ、設計内容ですとか運営イメージ等については、改めてまた丁寧に周知も図っていきたいというふうには思っているところでございます。

以上です。

○副議長（保坂 悟君）

以上で、東野議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

再開を3時55分といたします。

〈午後3時43分 休憩〉

〈午後3時55分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、保坂 悟議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。〔17番 保坂 悟君登壇〕

○17番（保坂 悟君）

公明党の保坂 悟でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、駅北遊び広場整備事業のにぎわいづくりについて。

(1) コンテナハウスの活用について。

- ① 目的に応じて配置を変えられるおしゃれなコンテナハウスを積極的に導入する考えはあるか。
- ② 起業のハードルを下げる「スモールスタート支援」を創設し、カフェや手作り工房などのショップ、ミニ博物館やミニ展示室、習い事などを展開する考えはあるか。
- ③ 期間限定のチャレンジショップの場として提供し、成功したお店が市内の空き店舗や移転する起業の循環モデルを行う考えはあるか。

(2) 「子ども体験ラボ」という空間の設置について。

チームラボ風なデジタル遊びと昔遊びのようなアナログの体験や、でんじろう先生のような実験等が自由にできる空間を提供し、様々な専門家や得意分野を持つ地元の高齢者から講師になっていただく取組を行う考えはあるか。

(3) 水遊び場と子供消防隊体験コーナーの設置について。

駅北大火を伝承するスポットとして、夏場の噴水のところで炎の的を水鉄砲で倒すことや、親子で40ミリホースの体験をするなど「防災」、「親水」と「子ども消防隊」について、遊びながら学べる空間にする考えはあるか。

2、親子で楽しめる観光や交流人口の拡大について。

(1) 全天候型子供屋内遊戯場の整備について。

- ① 子育て世代の長年の要望施設であり、子供を預かる高齢者の方々にも喜ばれる施設である。インクルーシブデザインにするなど、誰もが気軽に利用できる工夫を考えているか。
- ② この施設は市内の子育て支援を目的にしているが、子育て世代の広域交流の施設として、糸魚川市に足を運ぶきっかけとなるような工夫をする考えはあるか。

(2) 親子で遊ぶ新しい空間づくりについて。

- ① 須沢臨海公園や美山公園、森林公園等において新しい工夫を考えているか。
- ② 道の駅マリンドリーム能生、親不知ピアパーク、越後市振の関において新しい工夫を考えているか。
- ③ フォッサマグナミュージアム、糸魚川ジオステーションジオパル、大糸線やえちごトキめき鉄道の無人駅等の活用について、新しい工夫を考えているか。
- ④ 糸魚川市を知っていただくために、映画「ふるさとへ還るとき～相馬御風を訪ねて～」の撮影スポットを適宜紹介するなど、市民をはじめ、映画ファンをともに育てていくような雰囲気づくりの支援を検討しているか。

3、縮充の取組について。

(1) 空き家対策とまちづくりについて。

- ① 空き家の実態把握とその建物並びに土地の活用を総合的に検討し、個別の空き家を面で捉えていく都市計画に結びつける考えはあるか。
- ② 10年後、20年後を想像して糸魚川駅周辺を縮充のまちにする、利便性の高いコンパクトシティにする考えはあるか。
- ③ 空き家の処分で経済的に困っている方がいる。空き家は個人の財産であるが市民生活の安全を守る視点から放っておけないものがある。解体の促進や跡地利用などを含めた相談窓口の創設を考えられないか。

(2) 面白い人たちによる糸魚川市の活性化の取組について。

- ① 面白い人たちの力を借りてまちづくりをする考えはあるか。
- ② 市内で「何か」をしてみたい人を募集する企画は考えているか。
- ③ 市内で必要と思われる職種の人を募集する企画は考えているか。

(3) 若者流出を防ぐためのジェンダーギャップの解消について。

先頃、新潟県が行った県内出身の若者意識調査（800人）で、女性に対する偏見（バイアス）があることが指摘されている。このような地域の慣習や同調圧力について、市ではどのように考えていくのか。

4、子供教育について。

(1) 小学校体育館のエアコン設置について。

市内小学校の計画と進捗状況はどうなっているか。

(2) 「いじめ対応専門チーム」の設置について。

いじめ事案の重大化や悪質化を踏まえて、教職員の負担軽減を図るため、弁護士や警察官の力を借りるチーム形態にする考えはあるか。

(3) 学びの多様化学校の設置について。

市民ニーズと学校の仕組みと立地について、どのように検討を行うのか。

(4) 学校給食の無償化について。

衆議院議員選挙の影響を心配しているが、予定どおり新年度から実施できるのか。

(5) 海洋高校の高専化について。

サテライトオフィスで有名な徳島県神山町では、「神山まるごと高専」という私立の5年制高等専門学校がある。特徴は、全寮制で定員が1学年40人、そして奨学金基金により全学生の学費が何と実質無料である。海洋高校も水産業界の人材を輩出するべく、高専化のプロジェクトを始める考えはあるか。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

保坂議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目のコンテナハウスにつきましては、利用形態も含めて検討してまいります。

2点目と3点目の体験活動の実施につきましては、施設運営も含めて検討してまいります。

2番目の1点目の1つ目のインクルーシブデザインにつきましては、年齢や障害の有無にかかわらず、多くの方が利用しやすい空間となるよう配慮し、誰もが居心地のよい施設づくりを進めてまいります。

2つ目の広域交流につきましては、市民をはじめ、市外からも訪れたい魅力ある施設となるよう、創意工夫のある提案を募り、整備に努めてまいります。

2点目の親子で遊ぶ新しい空間づくりの1つ目から3つ目につきましては、それぞれの運営者等において、来訪者から満足いただけるような工夫が必要であると考えております。

4つ目の映画ファンを育む雰囲気づくりにつきましては、ふるさと納税やエキストラ等を通じた本映画制作への参画のほか、より映画に親しめるよう映画祭を開催しており、市といたしましても、引き続き連携して取り組んでまいります。

3番目の1点目の1つ目と3つ目の空き家を都市計画に結びつける考えにつきましては、来年度の組織再編により、空き家の活用や適正管理依頼など、空き家に関する対応が一元化されることから、相談窓口も含め、より効果的な施策を検討してまいります。

2つ目のコンパクトシティにつきましては、立地適正化計画に基づき進めてまいります。

2点目の独自の視点や多様な発想を持つ方々と連携した活性化につきましては、人口減少が進む中で、様々な方とつながり、活動することで、地域に新しい価値や活力を生み出していくことは必要であると考えております。

意欲のある人材が活躍できる仕組みづくりや、当市が必要とする分野の人材確保に向けて、様々な観点から検討してまいります。

3点目のジェンダーギャップの解消につきましては、若者の流出防止は喫緊の課題であり、ジェンダーギャップの是正は重要な取組であると考えております。今後も広報やイベント等による啓発、情報発信等に努めてまいります。

4番目の1点目の小学校体育館のエアコン設置につきましては、今年度、中学校に導入した移動式エアコンの効果等を検証する中で検討してまいります。

2点目のいじめ対応専門チームの設置につきましては、教職員の負担軽減に加え、早期対応、迅速な事実調査や再発防止策の観点からも、今現在、検討を進めております。

3点目の学びの多様化学校の設置につきましては、学びの多様化体制整備検討委員会において、検討しております。

4点目の学校給食につきましては、先月、国の負担軽減事業の市町村向け説明会があり、新年度からの実施に向けて予算を提案しております。

5点目の海洋高校の高専化につきましては、設置者の県と情報交換をしながら検討してまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

よろしくお願いいたします。

それでは、順番どおり行きたいと思います。

コンテナハウスの活用についてであります。

コンテナハウスを導入するに当たって、駅北のにぎわいづくりのシンボリックな場所にするには、見栄えがとても大切かと思っております。特に若い女性はもちろんですが、子育て中の保護者の皆さんからも、立ち寄りたくなる、そういった雰囲気づくりが大事かと思うんですが、単なる本当のコンテナ、貨車にあるようなコンテナではなくて、おしゃれなそういうコンテナというものを検討

していただく余地があるのか、その辺、確認のため、お聞きいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

コンテナハウスにつきましては、議員から以前にもご提案をいただいたというふうには思っておりまして、また、広場の詳細設計を新年度進めていく中で、そういった点も含めながら検討はさせていただきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

それから、見栄えという点でもう一つ工夫してほしいことがございまして、当地は雪国ではあるんですけども、あえてウッドデッキのある空間というものも検討していただきたいなと思います。やはり場所が場所なので、湿気とか塩害とかは当然あるのは分かっているんですが、やはり先ほども言ったとおり、寄りたくなる雰囲気づくりというのは非常に大事かと思っておりますので、メーカーさんとも協力して、そういう塩害とかそういうのにも強いようなウッドデッキを商品として見せるというかアピールできる場所としても活用するような、そういった取組をぜひやっていただきたいかと思うんですけども、そういった考え方とかはいかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

ウッドデッキを実際に取り付けられるかどうかといったところは、ちょっとこの場ではお答えはできませんけれども、議員おっしゃられるような居心地のよい空間となるような形のものにはしていくことが重要だとは思っておりますので、そのような検討は進めていきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

それから、今のウッドデッキと同じような感覚なんですけども、コンテナハウス自体も、多分いろんなメーカーがあって、いろんな形があるかと思っております。それで、もしその広場でコンテナハウスを導入するに当たって、買取りでやる場合とリースでやる場合っていろいろあるかと思うんですが、そのコンテナハウス自体も商品として見た場合に使いながら展示をするという発想、メー

カーの、だから簡単に言うと安く借りて、そのメーカーのために商品展示してあげるよみたいな、そういった発想もしていくと、定期的に物を変えていく、またアレンジをしていけるというようなことも考えられるのかなと思って、そういった取組もちょっとメーカーさんとかと話をするときには検討してもらいたいと思うんですが、そういった発想は可能でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

広場につきましては、国の交付金のほうを活用していきたいというふうには思っておりますので、今議員ご提案の部分が、そういった国の交付金等の使用に際しても問題ないかどうかといったところも含めながら考えていく必要もあるかとは思っておりますが、ご提案については、受け止めさせていただきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

そうですね、財源の面では交付金の縛りというものもあるかと思しますので、その辺も、その部分は了解いたしました。

次に、今度②の起業のハードルを下げるスモールスタートというところがございますが、糸魚川市には創成塾の取組があります。それに参加した方や地元の方はもちろんなんですが、市外の方でもこの場所を積極的に糸魚川の駅北で起業してみたいなと思った場合には、そういった方たちにも門戸を広げて、起業のチャンスというのを与えるような、そういった取組も必要かなと思うんですが、そういったことは実際にできますでしょうか。コンテナの数もそんなにたくさんないのでかなり絞られるんかと思いますが、そういった取組を考えていただきたいんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

コンテナハウスの利用というところと、今議員のほうからは、商業ベースでの利用といった形のご提案かというふうには思っておりますけれども、先ほどもお話ししましたとおり、国の交付金の関係で、当初から商業ベースでの利用といったところでは、交付金のほうの制約等もございますので、そういったところも勘案しながら、そういったコンテナハウスの利用については検討していく必要があるというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

私じゃ、ちょっと勘違いしてましたかもしれませんですね。コンテナハウスの中に入るのは、じゃ、商業施設というものは一切駄目という認識でよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

基本的には、もうあらかじめ商業ベースで固定するというような形になりますと、なかなか利用は難しいのではないかなというふうには思っております。コンテナハウスを利用するにいたしましても、多目的な利用といったところを踏まえながら検討は進めていきたいというふうには考えております。いずれにしましても、多くの方から利用できるような広場となるような形で、今後、検討はしていきたいというふうには思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

そうなるとちょっとやっぱりにぎわいづくりということを考えたときに、通告書にも書いたとおりなんですね、やっぱりいろんなカフェとか工房とかのショップとか、あとミニ博物館とか、ミニ展示室ということで、今日も質問のためにちょっといろいろ考えてはきたんで、一応受け入れられるかどうかは別として、ちょっとこの時間使ってちょっと紹介したいんですけれども、私の中では、コンテナハウス自体が、もう何ていうのかな、にぎわいをつくる一つの、何ていうのかな、スポットという捉え方をしております、いきなりそこでコンテナでショップ開いてくださいとか、何だろう、手作りの何か物を展示しますとかといってもなかなかとつきにくいのでやりづらいのかなと思って、モデルショップみたいな形をちょっと考えてきたんですね。聞いていただきたいと思うんですが、具体的に5つ考えてきました。

まず1番目には、やっぱりジオパルに所蔵されている鉄道グッズの展示室、これは以前から懸念されておったので、ここのコンテナハウスのスペースで、まずはそういったものを紹介する。駅と駅北のところの動線をつくるというポイントなんですけれども、そういった考え方というのは、これは可能なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

広場のほうの立地的なことを考えますと、やはり駅からの誘導といった面で議員ご提案のような形でジオパークからつながるような、そういった部分というのは非常に魅力的なものになるかなというふうには思っております。

ただ、そういった展示が可能かどうかというところは、今後、検討はさせていただきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

次に、2番目に考えたのが、能水商店のサテライトショップであります。

運営スタイルは、できたら高校生の高校生による高校生のための運営ショップが理想なんですけども、その高校生が授業とかで入れない平日の昼間なんかは、逆に高齢者から協力いただいて、お店を運営してもらうとか。そうすると、高校生と高齢者の、何ていうかコラボによる、そういう能水商店の案内をするというふうにも考えたんですが、そんなにたくさん置くわけじゃないんですが、商品紹介してもらったりする。または注文取ってあげたりするみたいなことを考えたんですけど、そういった取組はいかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

先ほど答弁申し上げたとおり、最初から商業ベースで固定というところはなかなか難しいかなというふうには捉えております。

また、議員ご提案の部分、キターレ等も含めて、ほかのところでも検討できるのではないかなというところもあるかとは思っていますので。

あと、商業的な利用というところでは、今キッチンカーというところは想定していきたいというふうには思っております。キッチンカーを固定するものではございませんので、そういった形での広場内での利活用といったところについては問題ないのではないかなというふうには捉えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

次、3番目に考えたのが、当初の子育ての複合施設でなくなったので、駅北大火の教訓から、防火について関心を高めるために親子で子供消防隊に関心を持っていただくためのキッズ消防隊のブースというか、そういったものを設置していただいて、まず、子供たちに消防士の格好から入

ってもらって、先ほども通告書に書いたとおり、おもちゃでもいいと思うんですね、そういう的を作って、水鉄砲みたいなもので消すとか、そういったところのブース、いろんなおもちゃ道具であるとか、そのスタッフが待機できる場所という部分でのコンテナの活用を考えたんですけども、そういったものは、特に問題はないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

様々なご提案をいただいておりますけども、駅北地区にはキターレもございまして、キターレも、もともと商業利用、出店の起業の機会ということでシェアキッチンもございまして。多目的に利用できるようなスペースもあるという中で、基本的にはその差別化というんでしょうかね、今回の広場の部分については、国にも、大火からの復興の流れで、子育て支援に資する施設というようなことで整備を行う予定にしております。コンテナについても、ベースは子育ての方中心になろうかと思っております。

ただ、臨時的に使えるような多目的な利用、ご提言いただいているような、臨時的に使うという部分であれば可能かと思っておりますので、その部分、そういうことができるようなコンテナの利用、そういったものも含めて検討していく必要があるかというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

じゃ、次の4番目もこれも厳しいのかなと思うんですけども、以前ね、糸魚川市でもいろんな取組あった、ガチャガチャのグッズ、糸魚川市のオリジナルの。今いろんなお店、大手のお店でも本当にガチャガチャを、ガチャガチャだけを何ていうの、縦に3つ、4つを積み上げて、それがもうずらっと横一線に並んでるような空間をつくってるぐらい、何かそのガチャガチャの、何ていうかニーズがあるのかなと思って、特に私が行ったところは外国人の方もすごく大勢見られて、買っていたんですけども。糸魚川の限定グッズであるとか、ここで何か手に入れられないようなガチャガチャのそういうコンテナハウスがあってもいいのかなということで、そういう提案したいなと思ったんですが、それは商業ベースっちゃ商業ベースですけど、何かそういった何か楽しみどころとか、そういう部分ではやっぱり、駅北に人のにぎわいを求めているコンセプトであれば、そういうのもありかなと思うんですけども、その辺はいかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

判断としてすごく難しいのかなと思うんですが、例えばそういったガチャガチャが1つ、2つあ

るところ、部分的に置いてあるというところであれば、それほど問題ないような感じもいたしますが、例えばもう何十個も並んでいて、そこが全てそういう部屋になってるといったところとまた違うのではないかなというふうには思いますので、また、せっかくご提案の部分でございますので、留意しておきたいというふうには思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

最後5番目が、ちょっとこれ私も勇気要るんですけども、以前、等身大ガンダムの話をしたのにちょっと匹敵する提案であれなんですけども、ポケモンGOの話になるんですけど、N i a n t i c 日本法人ポケモンGOの専門店というかサテライトオフィスのものを駅北に設置してもらいたいなと思っております。

じゃ、何でポケモンなんだという多分ご批判があるかと思うんですが、実は、ポケットモンスターのゲームの中の、いろんなポケットモンスターがいるエリアがあるんですけど、そのエリアの中、ちょっといろんなほかの地域は分からないんですが、その中にヒスイ地方というのがあるんですね、そのセッティングとして。そこにはいろんなポケモンが住んでて、そこに行くともたポケモンをゲットできるという話なんですけど、どうも調べていくと、糸魚川のことじゃなくて、何か北海道か何かをイメージしたヒスイ地方となってるらしいんですが、それを今度ぐっとこっちの糸魚川のほうにちょっと引っ張る意味で、設定の話と、実際にヒスイの産地であるこの糸魚川を結びつけるような取組をぜひやっていただきたいなと。そういう意味でのポケモンGOの、もう本当小っちゃな事務所でもいいんですけど、ここにあるよみたいな、そういったところから始めていただきたいなと思っております。

もう一つ理由があるんですね。このN i a n t i cさん、ポケモンGOの専門店にお勧めする理由は、実は2016年の11月に、東日本の大震災の復興支援のイベントとして岩手県、宮城県、福島県の被災沿岸地域を中心に、そういうポケモンのイベントをやってるんですね。あと、熊本地震のときにも、熊本県と連携してイベントやってます。

理由は、その災害があったときに風評被害で客足が遠のくを防ぐために、ポケモンGOのゲームを通じて被災地に人を、足を運んでもらうという取組でございます。

一つ言っとかなきゃいけないですね。

ポケモンGOのゲーム自体は、ただゲーム盤を見て遊ぶのではなくて、いろんな地域に行ったり、いろんな場所に行くと、ポケストップというところに行くと、ポケモンを捕るボールを取れたり、またいろんなキャラクターのポケモンが出てくるのを捕れるんですね。だから、このゲームの面白いところは歩き回ること、歩き回って、そのキャラクターを集めるという、そういうことがあるので。だから、例えばですけどね、大きなイベントがあるんですけど、P o k é m o n G O F e s t というのがあるんですけども、今年は東京都お台場でやるんですけど、去年は長崎市で、たった11月7日から9日間の3日間だけで42万人集めている。経済効果も42億円があったと。2024年には、仙台市において5月から6月の、これも4日間ぐらいだったと思うんですけど、

P o k é m o n G O F e s t 2 0 2 4 仙台では、39万人集まって、その経済効果は74億円。2023年は、大阪でやって、これ8月の4日から6日やって、これはちょっと定かでないですが54億円という表記もありますし、87億円という表記もあって、これ3日間でやった。ゲームに参加した人は6万人しかいないんですが、やっぱりその付随効果というので、たくさんの方が来る。

もっとすごいなと思うのは、結局、外国人の方も、外国でも同じようなことで取り組まれておりまして、そういうただのポケモン、ただのゲーム、キャラクターと思うかもしれませんが、ポケモンGOを通じて、ある地域に人を呼び込めるという仕掛けがあるんですね。何で糸魚川がいいかと、駅北大火というそういう大きな災害があるということと、今回、くしくも、そのヒスイ地方という設定があるんですね。これを私は千載一遇のチャンスだと思って、これはこのポケモンGOの会社に一応掛け合ってみる価値はあるのかなと。その拠点をここに置いていただくことによって、それこそ市長じゃありませんけど10年後、20年後の展開としては、もうポケットモンスターのキャラクター、ポケ蓋といったマンホールの蓋であるとか、そのキャラクターを使えるような関係性を築けば、スキー場で使ったりとか、大糸線の駅のラッピングだとか、そういったものにも使える。なぜか、ヒスイ地方だから。そういうまちづくりの展開ができるので、ぜひこの機会に、にぎわいを求めてるんであれば、こういった角度の取組をぜひ検討してもらいたいなと思ってんですが、そういった考え方っていかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

保坂議員の熱い思い、伝わってまいりました。これから我々の行政の再編につきましても観光課と観光協会がコラボレーションして、あらゆる部分の糸魚川の誘客について対応させていただくこととなりますけども、やはり何か糸魚川に誘客できるだけのコンテンツというのは必要だと思っています。例えばあそこの口の字のかいわいでいくと七福神、あの火事から残った七福神に付加価値をつけて回ってもらうとか、八福神ですかね、そういうものがあったり、やっぱりヒスイという奴奈川姫の銅像があって、ところどころにヒスイがあって、そこに付加価値をつけるとか、いろんな考え方も出てくると思います。今、保坂議員言われるように、やっぱり地域を盛り上げるためのコンテンツというのは非常にこれから考えていくべきだと思いますので、これから令和8年、しっかりとそういう部分を含めて対応していかなきゃいけない。また、そういうことによって糸魚川の街なかだけではなくて、周辺部分に人を分散させていく効果もあるんじゃないかと思っています。

もう一つは、コンテナという部分で、先ほどお話ありましたけども、全てコンテナで計画設計することではまだありませんので、ただコンテナを活用するという部分は一つの大きな、今回整備においては考えていかなきゃならないというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

この中で、どれほどの方がポケモンGOやってるか、やった経験があるかちょっと私分らないんですけども、調べてみる価値はあるかなと思っております。

それで、今日でしたかね、市長のほうからお話あったんですけども、シーサイドバレースキー場の市民スキー大会、私も昨年、出ささせていただいたんですね。そのときに、「おーいとさん」という非公認のキャラクターがあるんですね。体がね、真っ黄黄なんですわ。顔がかわいらしいんですが、そのときゲレンデでは大きいゴーグルしとったんですね。そんで上からさっと滑ってくる姿を見ると、さっき言ったポケモンのピカチュウみたいなんですね。ああいうのがゲレンデで滑ってくれてるだけで、何ていうのかな、空気が明るくなるというか、ああいうのを見たときに、もしポケモンと連携できるのであれば、そういったキャラクターを滑らせる。シーサイドバレースキー場へ行くと、ポケモンのキャラクターに会えるとか、そういったこともすごく想像できたんですね。だからそういった意味でも、確かにロイヤリティーとか、いろんな肖像権の関係とかもあるかとは思いますが、ガンダムのおきも思ったんですが、多少高くても、いろんなクラウドファンディングのやり方とかいろんなことをやっていくと、長期じゃなくても短期的にできるんじゃないかなというふうに思っております、そういったところもぜひ織り交ぜていただきたいです。

あと、先ほどもちらっと言いましたけども、スキー場もさることながら、やっぱり大糸線の中でもそういった電車の中でしか、何ていうかポケモンをゲットできないとか、無人駅に行かないと、通るときじゃないとそれをゲットできないとか、いろんな条件設定ができるんですね。そこに付加価値があって、遠方からも来てもらえるという、そういう仕掛けなんですね。だからポケモンGOのルールとかやり方自体もちょっと学習しないといけないかもしれませんが、それぐらいのことをしていかないと、先ほども、今日一般質問ですと聞いてますけども、いろんな整備はするけども、じゃ、本当に人来てくれる仕掛けって何なのという、私ずっと聞いてましたけど、ないよと思うんですけども、それは大丈夫ですか、そういう仕掛けづくりは、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

いろいろご提言ありがとうございます。

市長も答弁させていただきましたけども、まちのにぎわいの創出にはいろんな方法があるかと思えます。議員おっしゃられるような方法も一つだと思いますし、今、大糸線のお話もございましたけども、駅メモというアプリで、キャラクターをメインとした取組もさせていただきましたけども、これもそういうファンの方々が、小谷駅、それから糸魚川駅に来られたといったような効果も、私ども感じております。

にぎわいの創出の方法は、いろいろあろうかと思いますが、そういったものを総合的に鋭意考えながら、検討をしていく必要があるというふうに考えております。駅北の広場のお話の部分ではあるんですけども、全体のまちづくり、にぎわいの創出というようなところについては、今後も検討

が必要かというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

私もね、唐突な提案なので回答も困るかなとは思ったんですが、でもせっかくこういうタイミングでヒスイ地方なんていう言葉が出てくるのは、前も名探偵コナンのところで野辺山の国立天文台が、その映画の会場というか舞台になったんですけども、それによって人がそこに動くわけですよ。だから、今回本当にこのヒスイ地方なんていう言葉を使ってくださったのは、誰がそういうアイデア出してくださったか分からないですけども、糸魚川にとっても、ほかが手挙げられないわけですよ、そういったコラボしていこうとした場合に。そういったときに、この千載一遇のチャンスをぜひ糸魚川市としては生かしてほしいですし、もっと言えば、ポケモンの会社にスキー場を譲渡したらどうかとか、そこまで考えて思ってたんですね。だから、それぐらいの勢いで、ちょっとアプローチをかけていただきたいなというふうに思っております。

それと、あとちょっと残念だったのが、さっきのコンテナハウスでまたキッチンカーという部分では、糸魚川市としてはどのようなものを想定して今やってるのかなというのが気になります。要は、アイスクリームとか売るとか、ジェラートとか売るとか、クレープを売るとか、そういうのは想像できるんですけど、じゃ、実際そのタイミングであるとか、誰に来てもらうのかとか、誰がそれを管理するのかとか、事故があったときにどうするのかとか、何かそういうところを今整備中なんで見えてないんですけども、そういったものが、荒々何かそういう青写真があって、今取り組んでおられるのか、その辺ちょっと教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

先ほど私、キッチンカーというようなところもご説明いたしましたけれども、具体的にどんな業種、職種といいますか、品物をといたところまでは明確に固めているといったものはございません。利用者のニーズ等も踏まえながら、その運営の中で検討していくことになるというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

続きまして、大きい2番の親子で楽しめる観光交流人口の拡大についてであります。

全天候型の屋内遊戯施設については、今の旧ブックセンターさかいさんの場所で今検討されていると。先ほども東野議員のほうからご指摘あったとおり、私も心配しております。場所と、道路挟

んで反対側にスーパーがあるので、やっぱりスーパーから直接施設に入ってくる場合であるとか、やはり小さなお子さんが遊ぶ場所であるので、やはり手離しちゃいけないんですけど、それでもやっぱり手離したときにばあっと走ってったりしたらどうなのか、柵とか必要なんじゃないかなとかいろいろ考えます。

あともう一つ気になっているのは、おトイレであります。

今の設置状況でいくと、一旦外に出るような形でおトイレを使うような感じになっていて、やっぱり中から自然に入っていくようにしないと、そこも子供たちが外にそのまま出ちゃっていくんじゃないかなとか、そういういろいろちょっと考えるんですけど、そこはもう大々的に安全面に考慮した施設にさせていただけるのか、そこをちょっと確認させてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

やはり小さなお子さんが利用する施設になると思っておりますので、そういったところの安全面というのは十分配慮していかなければいけないというふうには思っております。今後、その内容の詳細を詰めていく中で、議員おっしゃられたような部分も含めて検討していきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

あとちょっと施設の利用の仕方なんですけど、ちょっと気が早いんですけども、屋内遊戯施設は、場合によってはあれですか、保育園の園児さんたちがミニ遠足みたいな形で遊ぶとか、駅北もちょっとどうなのか、広場をどういうふうにするのか分からないんですけど、両方ともそういう園児たちが平日、比較のお天気のいいときに遊びに来るよとか、ミニ遠足感覚でいつもと違う空間で遊ぶよとかって、そういうことも一応考えているというふうなことでよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

議員おっしゃられるような形で近くに保育園もございますので、そういったお子さんたちが利用するといったところは、十分想定しているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

今度運用のほうになるんですけども、例えば障害を持っているだとか、あと前も言ったように、化学物質に過敏症の方だとか、何かいろんなちょっと何ていうのかな、障害を持って、でもそのときにちゃんと予約すると一定時間遊ばしてくれとか、何かそういったこともできるのかな。それは平日とかで比較的用户の少ない時間帯にはそういうこともできるのかなと思って期待はしているんですが、そういったものじゃなくて、もうそれは駄目なんだと、個々の対応はできない施設なんだというようなものなのか、その辺ちょっと考え方を教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今、議員おっしゃられたような形で、例えばその時間帯だけを完全にその方の予約にしてといったところまでは正直想定はしておりませんでしたけれども、どなたでもご利用いただけるような、そういったインクルーシブな形での施設ということは、目指していきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

そうしますと、今度（2）の親子で遊べる新しい空間づくりであります。

須沢の臨海公園であるだとか、美山公園、森林公園というふうに言いましたけれども、以前に阿部議員のほうからもふわふわドームの設置ということもありましたし、田原洋子議員からもターザンロープですかね、そういったこともありました。ほかにもね、何かウレタン製の滑り台だとか、グローブジャングルというんですかね、昔でいうジャングルジムみたいなものだと思うんですけども、そういったものだとか、あと虹のハンモック巨大ネット遊具とか、エア式大型遊具とか、あと横移動のクライミングとか、いろいろあるんですけども、そういったものを、あれですか、今回いろんな、まず、どこから手をつけるか分かんないですけど、そういった、何ていうか新しいそういう空間づくりというのを力を入れていくような考え方ってあるもんですか。それとも、もう縮小縮小で、そういったものはもう整備しないで、公園は縮小のほうに行くのか。縮充の観点もあるんですけど、私いろんな子供たちに糸魚川に遊びに来てもらいたいというところから、そういうような、外で遊ぶ部分でもインクルーシブデザインの遊具っていろいろあるみたいで、そういったものを逆に取り入れて紹介してほしいなと思うんですが、そういった考え方があるものか、ちょっと教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えいたします。

今ほどご質問ありました公園のほうにつきましては、やはり今、市内に多くの公園を抱えておりまして、お話あったように、やっぱり使用用途によりまして、統合したり、そういった部分も必要などが出てくると思います。

片や、やはり利用頻度が多いところにつきましては、遊具になるかどうかあれですけども、どういったものを取り入れるかですね、また、地元とか関係者の皆様と協議のほうをさせていただいた上で、そういったものの導入は、利用頻度とか費用対効果を見て、検討のほうを進めていきます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

遊具とかの広場の遊び場については、前も言ったと思うんですけど、子供は成長して行って、そのときには必要だなと思うけど、子供大きくなると、もうそういう公園すら行かなくなっちゃったりするので、本当にタイムリーに必要な人の声を聞いていかないと意味をなさないんですよね。だから、本当にそこは、何ていうの、大きな耳でそういう声を拾っていくような——で、タイムリーな遊具をぜひ何ていうかな、加えてほしいなと思います。

あと、須沢臨海公園に関しましては、スケートボードのコースがあって、街灯というか電気は何か修繕してくださったのかな、何かそんな話も聞いてたんですけども、今、平野歩夢君とかもいて、スノーボードもさることながら、スケートボードをやるお子さんというか若い人たちがいるので、そういったコースについても、何ですかね、ボックスってあるんですけども、ぼろぼろのボックスが置いてあって、これどうなのというようなボックスがあるんですね。だからそういうんじゃないかと、きちんと遊べるようにきれいにするとか、そういうふうにしていかなきゃいけないと思います。むしろ今、須沢だけなんですけれど、もっと場所を増やす計画があるとか、あと、以前も言いましたけど、バスケットボールのゴールを設置してあげるだとか、何かそういうのをちょっとここへ来て、また考えてほしいなと思うんですが、そういった考え方はありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

古市青海事務所次長。〔青海事務所次長 古市 護君登壇〕

○青海事務所次長（古市 護君）

お答えいたします。

青海シーサイドパークのほうには、ラインスケートとかスケートボードとかができる、そういうコースもあります。今ほど議員言われた、街路灯とかが切れておったりということで、その辺につきましては県のほうに要望いたしまして、今年度どうにか発注のほうをするということで回答のほうをいただいております。

ただ、設置時期につきましては、年度を明けた6月ぐらいになるんじゃないかということで伺っ

ております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えします。

公園の全体の、今ほどお話ありましたスケートボードのコースとか、あとバスケットリングというお話なんですけども、こちらのほうも先ほどの答弁と重複するかもしれませんが、いろいろ地元の声を聞く中で、必要に応じて検討のほうを進めてまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

あと公園で、ちょっと別の角度なんですけども、昨年ずっと熊の問題がたくさん出てきてまして、特に美山公園なんかも該当するんでしょうけども、森林公園とかも。そうなった場合、熊から身を守るためのシェルターであるだとか、何かそういったことって考えてるのかなど。

また、早川ですとね、火山のシェルターとか必要だって話になるんですけども、こういう遊びで人も来てもらいたいんですけども、そういった安全面の工夫であるだとか、糸魚川はこういったところ、安全面、しっかりやっていますよということもアピールしながら、多くの方に来てもらう。

また、今公園につきましても防災公園という観点もあって、トレーラートイレとかトイレカーとか、あとそのコンテナ式トイレというのもあるんですけど、もうそこに置いただけで、もう全部水も浄化して、再利用するような、今そういうコンテナトイレみたいなものもあるんですね。だから、水洗化されてなくても、それを置くだけで、二つのコンテナを並べるだけでそういうのが使えるだとか、そうすると公園の広範囲に利用できるようなことは、トイレがあるからここに戻らなくちゃいけないみたいなことじゃなくて、ちゃんと広域的に使えるために、そういう移動式のトイレを設置することによって広場をもっと有効に使えることもできるんで、そういった備品というか設備についても今後考えてもらいたいと思うんですが、そういった観点はありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

今ほどご提言ありがとうございます。

議員おっしゃったように、やはり昨年来から熊等が多発しておる状況もありますし、やはり身を守るためにどうすればいいかということは、やはり検討しなきゃいけないかと思っておりますので、まず、シェルターをつければいいのか、こういった危険周知の看板をつけたほうがいいのか、そういった面での安全面の工夫も必要かと思っておりますし、あと、トイレに関しましても、やはり老朽化したものが多いので、今ご提案ありましたコンテナトイレ等、他市の事例等も参考にさせていただきます。

研究のほうを進めてまいります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。

○17番（保坂 悟君）

公園については、今回通告書に上げたような場所については、多くの方に利用してもらいたいなと思っております。フォッサマグナミュージアム、全部、美山公園も含めてなんですけども。でもそうなった場合に、やっぱり安全に遊具も利用してもらいたいですし、いろんなこと使ってもらいたいんですけども、さっきも言った、トイレがあるとかないとかで全然行動範囲が変わってきますので、やっぱり安心して使えるような公園づくりというのもやってほしい。さっき言ったインクルーシブ、いろんな方が利用しやすいような配慮のある公園運営というのをしてもらいたい。

一方では、やはりなかなか利用されない公園については、思い切り、言葉きついですけどもやっぱり閉鎖とかそういうのもしていくことも大事かと思えます。草刈り一つ取ったって、もう本当に大変な状況であることも分かっているつもりであります。だからこそ、差別化して、利用してもらいやすい公園についてはどんどん力を入れていく、そうでないところは削っていくというところをメリ張りを付けてやっていただきたいと思えます。

たくさん質問を上げたんですが、以上で、私の質問を終わりたいと思えます。ありがとうございました。

○議長（古畑浩一君）

以上で、保坂議員の質問が終わりました。

本日は、これにてとどめ、延会といたします。

大変ご苦労さまでございました。

〈午後4時47分 延会〉